

7-3 新潟県におけるてんかん診療連携－西新潟中央病院－

国立病院機構西新潟中央病院統括診療部長

遠山 潤

国立病院機構西新潟中央病院てんかんセンター

てんかんセンター長

福多 真史

まとめ

- ・新潟県は西新潟中央病院を中心にした開業医，神経専門医，非神経専門医を横につなぐ診療連携の構築に取り組んでいる。
- ・より高度なてんかん医療を目指し、西新潟中央病院と新潟大学医歯学総合病院との連携をさらに強力にした。
- ・今後は行政との関わりをより強くすることと、一般市民へのてんかん啓発活動が重要である。

1. 新潟県てんかん地域診療連携体制整備試行事業

1) 概要

新潟県てんかん地域診療連携協議会を組織して拠点病院を中心とした新たなネットワークを構築し、西新潟中央病院をてんかん診療拠点病院として専門的なてんかん治療および患者への相談支援を行い、また周辺の医療機関との連携を密にし、てんかんに関する普及啓発活動を実施しててんかん診療における地域連携体制を確立させることを目指した。

現状では、新潟県が考えているてんかん対策の課題は、てんかん診療拠点病院としての患者集約、紹介元の医療機関へのてんかん普及啓発、新潟大学医歯学総合病院との連携であり、それぞれの強化を行った。

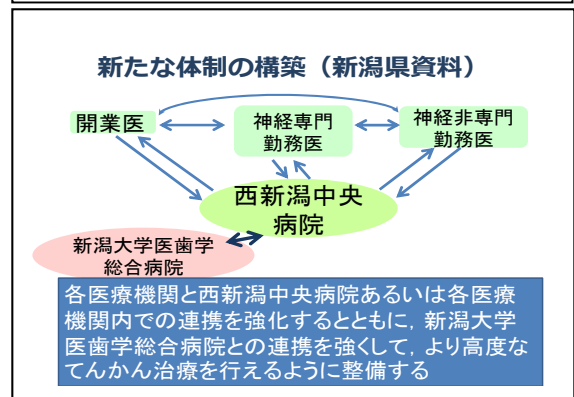
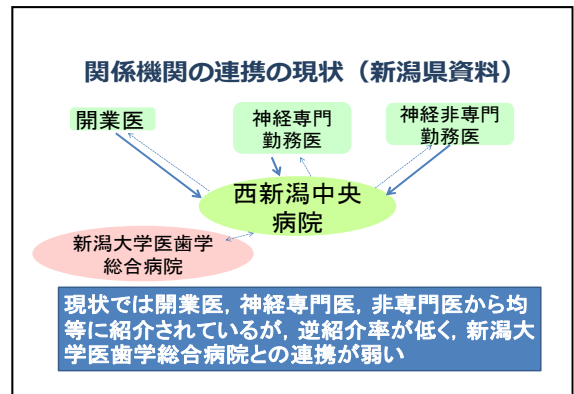
2) 具体的な活動

- ・治療機関を増やす試み
- ・各診療機関へのてんかん診療拠点病院の周知
- ・患者用のてんかんに関するテキストの作成と配布
- ・てんかんに関する各種研究会の開催
- ・市民公開講座
- ・医療者向けのセミナーの開催（医師、看護師、臨床検査技師、保健師）
- ・てんかん専門職向けセミナー（教職員、福祉担当者など）

2. てんかん診療拠点病院としての患者集約

新規患者数は、平成27年度481名に比し、28年

度は606名と127名26.4%増加し、特に県内からの受診の割合が5%増加しており、これは紹介元の医



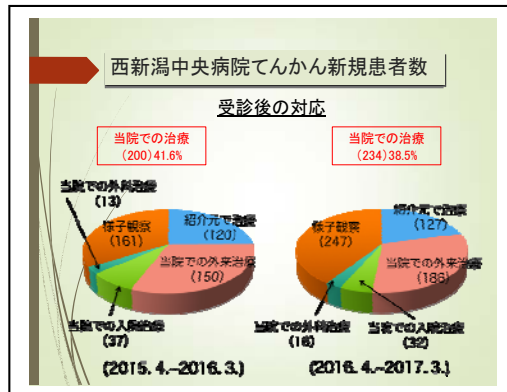
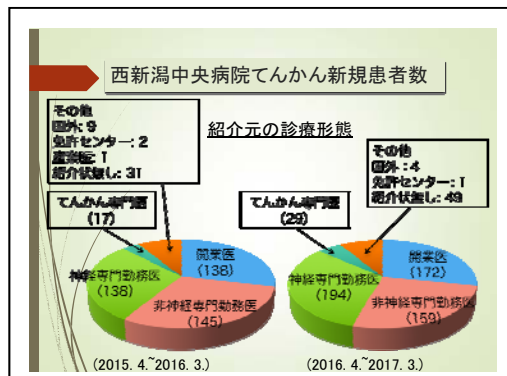
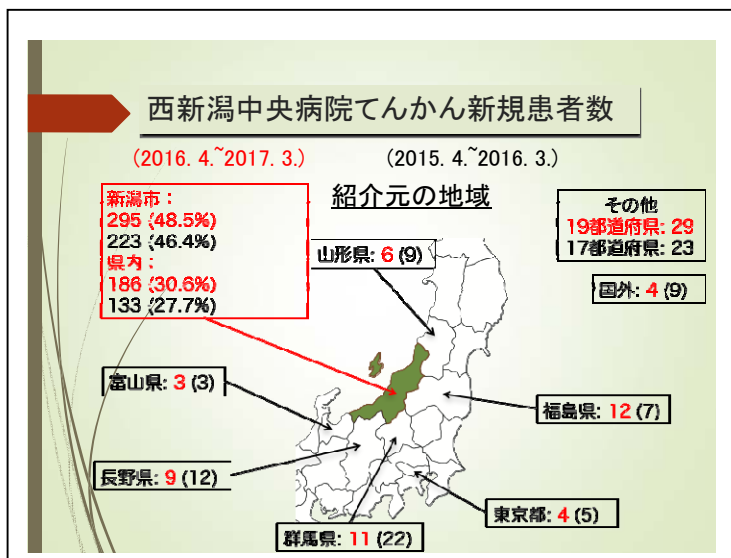
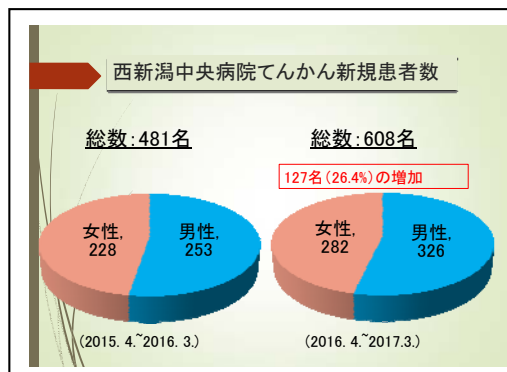
教育・啓発活動（2017年度）

- ✓ てんかん市民公開講座
2018年2月11日
- ✓ てんかん専門看護師研修会
2017年10月18日～20日（20名参加）
- ✓ てんかん臨床検査技師研修会
2017年7月12日～14日（24名参加）
- ✓ てんかん夏期セミナー（医師）
2017年8月26日（20名参加）
- ✓ てんかん専門職向けセミナー（教職員、福祉担当者など）
2017年8月24日（113名参加）
- ✓ てんかん講演会（新潟県福祉保健部主催、保健師対象）
2018年2月8日（21名参加）

療機関へのてんかん普及啓発の成果と考えられ、新潟県の課題であった点は達せられている。一方で、近隣の県およびその他の都道府県、国外からの受診も2割を占め、診療圏は県内に限られず、県を超えた地方てんかんセンターの役割を果たしている。

紹介元は大きくは変わらないが、神経専門勤務医からの紹介割合が増え、非神経専門勤務医からの紹介割合が減っている。開業医からの紹介割合は変わっていない。

受診後の対応では、当院での治療、紹介元での治療の割合が減り、様子観察の割合が増えているが、これは治療に関し適切な診断がなされたためと思われる。



3. 新潟大学医歯学総合病院との連携

新潟大学医歯学総合病院との連携が弱いことが課題の一つであったが、臨床面でも研究面でも連携が強化され、より高度なてんかん医療が可能となっている。

4. 新潟県でのてんかん地域連携モデル

1) 診療連携

西新潟中央病院を拠点とし、開業医、神経専門医、非神経専門医を横につなぐ診療連携の構築に取り組んでおり、また新潟大学医歯学総合病院との連携を強化してさらに高度なてんかん医療と研究を目指している。

また、患者あるいは医療機関が受診予約を簡便にできるように、病院のホームページから予約申し込み FAX をダウンロードできるようにし、負担が少ないように最小限の情報のみを記載するようにしている。そして迅速で適切な対応を行えるように、地域連携室を窓口としている。

